

サラマンカ



www.spain.info



▲ アナヤ広場

産業観光商務省
 出版元: © Turespaña
 作成: Lionbridge
 NIPO: 086-17-059-4

無料配布

パンフレット内容については万全を期して作成いたしましたが、お気づきの点がございましたら、改善のために brochures@tourspain.es までメールでお知らせください。

表紙: サラマンカ大聖堂
 写真: サラマンカ観光局
 裏表紙: 新大聖堂、外観
 写真: サラマンカ観光局

目次	
はじめに	3
サラマンカで楽しむ街歩き	4
文化	7
サラマンカを味わう	8
サラマンカの四季	10
子連れで楽しむサラマンカ	13
街の隠れた名所	14
サラマンカの夜は更けて	19
サラマンカの観光ルート	20
サラマンカ周辺のおすすめスポット	21
サン・セバスティアンへのアクセス	22
サラマンカ市内での移動	22

はじめに

開放的で活気のある街、サラマンカ。市内の建物やモニュメントを巡れば、その歴史をうかがい知ることができます。

サラマンカは、世界遺産の街です。創立は800年前というスペインでは最古、欧州でも3番目に古い**大学**があり、現在でも何千人もの若い学生たちが、世界中から研究活動やスペイン語学習のためにこの街へやって来ます。

サラマンカでは、博物館ほか、コンサート、演劇、展覧会などが充実し、数多くの**文化的イベント**が楽しめます。**食文**

化もぜひ堪能してください。イベリコ生ハムやワインだけでなく、オルナソを始めとするさまざまな郷土料理も絶品です。

もうひとつのサラマンカの魅力は、街を取り囲む**自然**です。トルメス川沿いにはアリベス・デル・ドゥエロ自然公園（サモラ県にまたがる）などの名所があり、ポソ・デ・ロス・ウモスの豪快な滝、経年により斜面が削られた崖で知られるベハル山地や自然保護地域に登録されているフランシア山地も人気です。

サラマンカの街をご案内しましょう。初めて訪れる方はびっくりするかもしれませんが、すでに訪れた方も、きっと新しい発見があるはずです。活気のある学園都市をぜひ楽しんでください。

▼ マヨール広場



サラマンカ で楽しむ街歩き



写真:サラマンカ観光局

中心街

シウダ・ビエハと呼ばれる旧市街をのんびりと散歩してみましょ。かの有名なマヨール広場は、美しいバロック様式が印象的な、サラマンカの街の中心。まずはここで食事や買い物を楽しみましょう。有名なファッションブランドから、伝統工芸品、グルメまで、さまざまな店が並びます。

広場へとつながる通りは、クレレシア教会など、街の主な見どころへと続いています。この教会の入場チケットでスカラ・コエリの展示が見られ、建物内のガイドツアーも付きます。ガイドツアーは、クレレシアの塔に上って終了します。眼下に広がるサラマンカ旧市街の美しい眺望は一見の価値があります。

その正面に見える、貝の家も訪れてみましょう。300を超える貝の形のオーナメントで装飾された当時のファサードが残ります。言い伝えでは、1枚の貝の裏に宝が隠されているとのこと。クラベロの塔にもぜひ訪れてみてください。ソトマヨール宮殿の一部で、防衛施設として機能していました。下層は正方形、上層は八角形というユニークな造りになっていて、各面に小さなやぐらが設置されています。

そこからほど近いエスクエラスの中庭を囲むのは、サラマンカ建築の至宝でもあるサラマンカ大学です。15世紀に建設された、エスクエラス・マヨールス、エスクエラス・メノーレス、オスピタル・デル・エストゥディオの3つの歴史的建造物が見られます。エスクエラス・メノーレスのパティオからは、サラマンカの空を見ることができます。エスクエラス・マヨールスでは、石に繊細な浮彫

を施したプラテレスコ様式のファサードが見どころで、蛙の彫刻探しをする人たちが賑わいます。蛙を見つけるヒントを教えましょう。悪い学生を待ち受ける運命の象徴、「ドクロ」の上にあります。大学では、見事な中庭や、エスクエラ・マヨール、エスクエラ・メノールの各学生寮などにも立ち寄ってみましょう。

アナヤ広場を通過すると、**聖母被昇天大聖堂**と **サンタ・マリア大聖堂**という2つの荘厳な建物が目の前に現れます。それぞれ**新大聖堂**、**旧大聖堂**とも呼ばれています。内部では旧大聖堂の素晴らしい祭壇画ほか、珠玉の宗教芸術作品の展示が見られます。

両大聖堂の塔レロニムスは、街の大切なシンボルにもなっています。聖堂内の見学は、胸壁、小尖塔、ガーゴイルの順に進むルートがおすすめです。クレレシア塔(エスカラ・コエリ)のテラスとサン・エステバン修道院のテラスと並び、ここのテラスは街を眺望を楽しめる最適な場所です。

サラマンカの街は、ゴシック様式とルネッサンス様式の要素が残るプラテレスコ様式であふれ、**サンエステバンの教会と修道院**のファサードなどが代表的です。その内装も美しく、大きな衝立にはホセ・デ・チュリゲラの傑作、王の回廊ではリブヴォールトが見られます。

キリスト教の建造物以外に、街の中心部では**宮殿**や**マナーハウス**も見て回しましょう。カジノ・デ・サラマンカの本店である**フィゲロア宮殿**や、スペイン国内やラテンアメリカで大変な人気を博し、模倣されたルネッサンス様式の民間建築、**モンテレイ宮殿**などが有名です。



マヨール広場

写真:サラマンカ観光局



リベロス通り

写真:サラマンカ観光局



▲ サン・エステバン修道院

プラテレスコ建築の先駆けとなった**オレジャーナ宮殿**も見逃せません。塔の後ろ側には、ファサードの両側に位置するギャラリーを結ぶ連絡階段があるなど、独特な造りが見られます。

サラマンカには多くの伝説や神秘的な歴史が隠されており、**カサ・デ・ラス・ムエルテス**はその代表例です。その建物の名前は、ファサードに彫られた4つの頭と、19世紀初頭に奇怪な境遇で4人の住人が殺害されたことに由来しています。

昼間のサラマンカも素敵ですが、夕暮れ時のサラマンカは特に魅力的です。街に散在する**ビジャマヨール産の石材**を用いた建造物の数々が、夕日を浴びて金色に輝く瞬間は見逃せません。

オエステテ地区

近年、この地区は野外美術館さながらにアートであふれています。地元の組織や芸術団体が、**アーバンアート**の取り組みを後押ししており、現在では世界各地から若手芸術家が集まって来ています。ガレージの扉や街中の壁、建具などがキャンバスとなり、街をカラフルで活気ある風景に塗り替えています。

常に変化し続ける現代芸術、アーバンアート巡りを楽しむなら、ウェンセス・モレーノ通りの**カサ・ニド**と、パピン通りの**市の女神**の2点は外せません。

① ウェブサイト

www.galeriaurbanasalamanca.es

または同名のスマートフォンアプリで、好みに合わせて旅程を作成できます。

文化

サラマンカでは伝統に根差した文化も幅広く見られますが、現代的な側面も注目されています。

▶ アールヌーヴォー・アールデコ美術館
カサ・リス



写真:サラマンカ観光局

サラマンカ初の現代建築、カサ・リス内にあるユニークな美術館もそのひとつです。このアールヌーヴォー・アールデコ美術館は、大きなステンドグラスと独特のデザインが印象的。19世紀末から20世紀頭にかけての装飾アート的一大コレクションを展示しています。

サラマンカの伝統、美術、考古学に特化した展示が充実する**サラマンカ美術館**も訪れてみましょう。歴史的なアルバレス・アバルカ宮殿内にあります。

旧大聖堂回廊の参事会会議室とサンタカタリーナ礼拝堂では、興味深い芸術作品が収蔵されている**大聖堂博物館**に入ってみてください。マナーハウスの美しいドアを開けると、13世紀から20世紀にかけての絵画や彫刻が並ぶ展示室に出ます。

一方、サンミラン教会には**サラマンカ・モニュメンタ・サラマンティカ**都市建築遺産センターの博物館が入り、革新的かつユニークな展示空間で、サラマンカの建築物や都市遺産をガイド。バーチャル・リクリエーション、インフォグラフィックス、その他オーディオやビジュアル効果によって把握できるようにしています。

サラマンカの文化は、歴史的建造物や美術館だけではありません。国内外のアートの最新トレンドを紹介する現代アートセンター、DA2(ドムス・アルティウム 2002)などもあります。

① 博物館についての詳細:

www.museocasalis.org
catedralsalamanca.org

サラマンカを味わう



写真:サラマンカ観光局

サラマンカは豊かな食文化で知られており、ソーセージ(特に小麦粉とラードを使って作られるファリナートが知られている)や豚や子牛の肉料理、豆類、スープ料理などが楽しめます。

サラマンカ県内の牧草地で育てられた地ビーフ、モルチャ牛が名物です。

サラマンカのバルのほとんどでは、ドリンクを注文すると、美味しいおつまみや多種多様なタパスが突き出しとして提供されます。タパスを楽しむのに最適なエリアは**バン・ダイク通り**周辺で、グリル料理がよく知られます。また、**マヨール広場**一帯にはさまざまなレストランや居酒屋、テラス席のある店が集まり、サラマンカ料理を堪能できます。

この地域の伝統料理と言えば、**イベリコ豚の生ハム**に尽きます。原産地呼称保護PDOのギフエロ産のハムは、スペイン屈指の美味しさで知られています。食事には**ワイン**も欠かせません。この地域ではルフェテ、ガルナチャ・ティンタ、テンプラニーリョなどの品種の葡萄から、良質の赤ワインが生産されています。白ワイン向けの品種も負けていません。マルバシアとベルデホ・セラノからは、ワイン通の専門家も舌を巻く見事な白ワインが完成します。

近年、数多くのワイナリーが頭角を現し、サラマンカワインの質もスペイン国内最高レベルにまで到達してきています。ワインと一緒に**ラ・アルムーニャのレンズマメ**や**アリベスチーズ**など、大地の恵みとのペアリングもお楽しみください。

この地域の伝統的なレシピのひとつ、**チャンファイナ**はラムの臓物と米を使った料理です。そして、**オルナソ**は、チョリソー、ひれ肉、生ハム、そして時にはゆで卵をパン生地で包んで作る郷土料理です。サラマンカのベーカリーやレストランでぜひ試してみましょ。その美味しさに虜になるはずです。

創作料理でも定評があるサラマンカでは、ミシュランの星を獲得したいくつものレストランが伝統と革新が融合した極上の味わいを提供しています。



サラマンカ の四季

いつ訪れても、季節ごとの魅力にあふれるサラマンカは、街中だけでなく郊外にも旅の楽しみが広がっています。

▼ マヨール広場



写真:世界遺産都市

夏

暑さの到来と共に、路上ではさまざまなイベントが開催され、**カスティーリャ・イ・レオン州国際芸術祭 (FACYL)**はその代表例です。6月の1週間、俳優やエンターテイナー、ミュージシャンなどが中心となり、市内の通りや文化スペースで素晴らしいパフォーマンスを提供しています。演劇、コンテンポラリーダンス、現代サーカス、子供向けアクティビティ、グルメ食べ歩きなど、FACYLではあらゆる体験が可能です。

広場と中庭プログラムもまた、屋外での素晴らしい1日を演出してくれます。夏の間、**サント・ドミンゴ・デ・ラ・クルス**の庭園やマヨール広場、エスクエラスの中庭など市内の人気スポットで、音楽やアウトドア・シネマが楽しめます。

9月8日には、街の守護聖女である**ビルヘン・デ・ラ・ベガ**を称える**縁日と祭り**が開催されます。宗教行列で美しい花を捧げた翌日から宴が始まり、サラマンカの街は陽気な人々の活気に包まれます。1週間にわたるパレード、中世から続く市場、ワークショップ、トルメス川に沿ったアルデウエラの縁日会場のアトラクションなど、楽しみがいっぱいです。街の中心部では露店を巡り、昼から夜まで地元名物のピンチョスを味わうことができます。日没後は、マヨール広場がライトアップされ、地元ミュージシャンによるコンサートが始まります。





サラマンカ

水の道トレイル

秋

毎年秋になると、「街の鍵」プログラムによりいつもは入場が禁止されているサラマンカの地域へのガイドツアーを楽しむことができます。

秋色に染まる森で、アクティブに観光を楽しんでみてはいかがでしょうか。自然の中の芸術街道で目にする芸術作品は、渓谷の檻、川辺の人魚、青銅の羽、闇に消えた小惑星など多彩。ルートに沿って芸術的な手が加えられた景色は、自然の再解釈で新しい見方を提案しています。芸術と自然のシンフォニーを堪能してください。

ベハール山脈近くにあるラス・バトゥエカス・シエラ・デ・フランシア自然公園には、おすすめの4つのトレイルがあります。すべてループ状になっており、長さは7キロから10キロまでとさまざまです。

ミランダ・デル・カスタニャールとビジャヌエバ・デル・コンデを結ぶ**奇跡の道**から出発しましょう。豊かな自然が道をすっぽりと包み、オーク、葡萄、オリーブ、コルク樫、マドローニョなどの木々のほか、橋、棚田も見られます。

鏡の森の道はセケロス、ラス・カサス・デル・コンデ、サン・マルティン・デル・カスタニャールを結んでおり、アリスが不思議の国を歩くような風景が満喫できます。全行程において、自然と一体化した芸術的作品が見つかることでしょう。

アルベルカ周辺の**ルーツの道**は、先祖代々の文化が根付く場所です。地元の人々の伝承や思想が宿る遺物やアートを巡るうちに、過去の村の記憶が目の前の風景と重なります。

モガラスとモンフォルテ・デ・ラ・シエラを結ぶ**水の道**を通る際は、いつもとは違った方法で周囲を見渡してみてください。この自然歩道では、小川やせせらぎ、そして滝から流れる水の音がとても印象的に聴こえます。

① 詳細:

www.salamancaemocion.es

冬

サラマンカの冬の風物詩で寒さを乗り切りましょう。マヨール広場では絶品のホットチョコレートとチュロスが食べられます。代表的な場所のひとつは、サラマンカでも最古のカフェで1905年にオープンした、カフェ・ノベルティです。

世界でここだけの特別な**大晦日**をお見逃しなく。大勢の若者が、大晦日に先立って1年の終わりを祝うために、12月中旬に集結します。時計が0時を指すと、学生たちは鐘の音に合わせてグミを12個食べます。まだ帰りたくない気分なら、あちこちのバルやナイトクラブに立ち寄るのも良いでしょう。この日はイベントに合わせて深夜も営業しています。

春

聖週間は特に豪華で感動的な祭りのひとつで、スペイン全土で祝います。この行列には献身、芸術、色彩、音楽などあらゆる要素が見られます。信者たちが太鼓のリズムに合わせて、聖像を担いで街中を練り歩く光景は、厳粛な美しさを醸し出します。

4月から6月にかけては「サラマンカの春」プログラムが開催され、無料のガイドツアーや週末のアクティビティなどを楽しむことができます。

写真:サラマンカ観光局

子連れで楽しむ サラマンカ

▲ サラマンカ大学エスクエラス・メノーレス

サラマンカは家族で訪れるのにぴったりの、落ち着いた楽しい街です。通りや博物館の中にも、子どもの関心を引くサプライズが潜んでいます。サラマンカのモニュメントのファサードを子供と一緒に調べてみましょう。その多くに不思議な像が隠されています。**大聖堂**のラモス門には、アイスクリームを食べている宇宙飛行士の姿をした竜があるので、探してみてください。観光案内所で無料配布中のガイドブック『Salamanca en detalles』（サラマンカの詳細）が役立ちます。

マヨール広場の近くにあるフィルムライブラリーには**魅力的なガジェット**のコレクションが所蔵されています。ゾエトロープ（回転のぞき絵）の仕組みが理解できる楽しい展示です。一方、**カサ・リス内アールヌーボー・アールデコ美術館**には陶器の人形、オートマトンの人形、アンティークのおもちゃなどの興味深いコレクションが所蔵されており、子供たちも気に入ることでしょう。

サラマンカを取り囲む自然も、小さな子供にとっては理想的なレジャーのひとつとなります。ローマ橋を渡り、**トルメス川の土手**を散歩しましょう。ここにはカモやガチョウの群れが生息しています。春と夏にはトルメス川を**船に乗って遊覧**することもできます。船の上からは、大聖堂やカサ・リスを始めとするさまざまなモニュメントの素晴らしい眺めを楽しめます。

街の隠れた名所

時間に余裕があり、いろんな場所に行ってみたい場合は、次のようなオプションもあります。



写真:サラマンカ観光局

▲ カリストとメリベアの果樹園

公園と庭園

サラマンカには緑豊かな場所も数多くあり、訪れる価値は十分にあります。中心街の中で植物が生い茂る場所、**カンポ・デ・サンフランシスコ**はサラマンカ最古の公園で、石の噴水や彫刻も見どころです。天気の良い日には、ちょっとした公共の図書館が開放され、本好きの人々が訪れます。

最も規模の大きいものは**イエズス会公園**で、バラやポプラ、果実のなっている木々の間をゆったりと散策できます。

鉄道の駅近くには**ラ・アラメディージャ公園**があります。その人工池は柳の木に囲まれていて、たくさんのカモやハクチョウの隠れ家となっています。小さく噴水が出る中を歩くことができ、夏には大人も子供と一緒に水遊びが楽しめます。

アルセディアーノ通りの奥、サラマンカの古い城郭の斜面に、ロマンチックなムードが漂う**カリストとメリベアの果樹園**があります。この場所はスペイン文

学で最もよく知られている古典作品のひとつ『ラ・セレスティーナ』の主人公である恋人同士の出会いの舞台とされています。小さな庭園からは、2つの大聖堂を見渡す素晴らしい眺めを楽しむことができます。

トルメス川の土手は美しさが際立つ自然スポットを結んでおり、ゆったりと散策したり、素晴らしい街の景色を眺めたりすることができます。**ウエルタ・オテア公園、水上遊歩道、アルデウエラ公園**の3つの公園は中心街から離れた場所にあり、散歩したり自転車に乗ったりするのに最適です。遊歩道では、街の眺望や川の両岸を結ぶ橋を別の角度から眺めることができます。また、メルセド庭園からアナヤ広場までの散歩もおすすめです。

モニュメント

ジャベス・デ・ラ・シウダプログラムに参加すると、サラマンカの歴史や建築に詳しい専門家がガイドをするツアーで代表的な見どころを回れます。ツアーは無料で、通常は11月と12月の間に実施されます。

特に注目のツアーは、**サン・ビセンテ修道院**の遺構を訪れるガイドツアーです。サラマンカ最古の修道院のひとつで、サン・ビセンテの丘にあります。**サン・エステバン修道院**を訪れ、秘話を聞いたり複雑な空間を見学したりするのもツアーならではの。プロフンデイスの回廊、ロス・アルヒーベスの回廊、看護室、オリベッティ山などが見られます。

さらに、サン・アンドレス修道院の遺構と城郭を結ぶ**氷室**を見ることもできます。旧サン・セブリアン教会の地下室、



▼ 氷室

ヘラクレスの伝説が残る**サラマンカ洞窟**の探索もできます。この場所にはオカルトの学校があったとも伝えられています。

プログラムには、地理・歴史学部の建物(旧図書館)にある古い柵など、普段訪れることのない**サラマンカ大学施設**の見学も含まれています。多数の貴重な書籍を保管するために、公開制限が設けられている場所です。

① 詳細:

www.salamancaymas.es

www.spain.info



隠れ家的博物館・美術館

サラマンカには、サンタ・クララ修道院にある中世絵画美術館など知る人ぞ知る博物館や美術館があります。見逃せない有名なスポットをいくつかご紹介しましょう。

スペイン国内で最も重要で保存状態の良い製粉施設のひとつがサラマンカにあります。この古い製粉所は、ローマ橋と共に現在では**製粉博物館**となっており、当時の機械をそのまま保存

し、100年前に小麦粉がどのように造られていたのかを再現しています。

同じ敷地内には、200台以上の車両を展示する**自動車歴史博物館**もあります。ここでは史上初の内燃機関による自動車であるベンツの三輪車から、レースで使用されるフォーミュラ1モデルまで見られます。

この地域の習慣や伝統について深く知るには、**サラマンカ商業産業博物館**を

▼ 自動車歴史博物館



訪れると良いでしょう。古い地下貯水槽の中にあるこの博物館では、ローマ時

リブレロス通りには、ウナムーノの家博物館があります。ウナムーノは19世紀から20世紀にかけてのスペイン文学を理解する上で欠かすことのできない作家。サラマンカの街と大学に深いゆかりを持つ人物で、サラマンカ大学の総長も務めました。

代から現代までのサラマンカの商業と産業の歴史で重要な出来事をインタラクティブな形式で展示しています。

壁に囲まれた四角い空間で、今なお残る調度品や書類、その記憶に思いを馳せ、当時の空気を感じ取ってください。

① 詳細:

museoautomocion.com

サラマンカの自然を眺める

サラマンカの自然を大パノラマの眺望で楽しめる場所は、中心部からそれほど遠くない範囲に数多くあります。たとえば、カステージョ・デ・シウダ・ロドリゴ広場の**アゲダ展望台**からは、市街を見下ろすフランシア山地を背景に、マヨール橋、アゲダ川、川沿いのポプラ並木の見事な眺望が得られます。

ペーニャ・デ・フランシア山地の頂上にある**パン・デ・ロス・ロボス展望台**から見る、山地を取り囲む渓谷の景観もまた最高です。スペイン山羊が生息するのどかな自然が広がります。

高いところが苦手であれば、アリベス・デル・ドゥエロ自然公園の**フライレ展望台**に上ってみてください。ドゥエロ川とアルデアダビラ・ダムを一望できます。日常的に、ハゲワシが至近距離で飛んでいるのが見えます。

同じくアリベス・デル・ドゥエロ自然公園には**ピコ・ラ・ベラ展望台**もあり、ここからしか見ることのできないドゥエロ川の景色を楽しむことができます。そこからすぐ近くにはカチョン・デ・カマセスの滝があり、その美しさも一見の価値ありです。





サラマンカ の夜は更けて

他の学生街と同様に、サラマンカも日暮れと同時に活気が増し、通りには学生たちが繰り出して賑やかになります。

夜になったらまず行きたいところは、タパスを楽しむことのできるマヨール広場のテラスです。ここにはサラマンカで最も注目のバルが集結しています。お腹が満たされたら中心街を散策してみましょう。ライトアップされた建物群は必見です。自分の好みに合ったエリアを選んで、見て回ってください。

バリージャス通りや**サン・フスト広場**には格式の高いナイトスポットがい

くつかあります。夜には国際的な音楽のコンサート会場になることもあります。

グランビアには、あらゆる種類のバルやナイトクラブが集まります。**ボルダドレス**も同様に歓楽街となっており、ここでは外国人が目立ちます。ライブ音楽が盛んなエリアでもあります。

街の中心部にある**歴史地区**にもナイトスポットはたくさん。LGBTI+の集まるナイトクラブやバル、カフェのほか、お笑いやコントのショーが開催される小劇場などもあります。

サラマンカの 観光ルート

水城公園、大学のキャンパス、歴史地区やその他の地区などを**自転車**で**散策**し、街を別の角度からも見てみませんか。無料の自転車ツアーは、<https://salamancaymas.es>から予約できます。アルコ通りのエスパシオ・ホーベンでは、お手頃な料金で自転車を借りることができるほか、サラマンカの見所を巡るガイドツアーを予約することもできます。

◀ ラス・ドゥエニャス修道院

ほかにも、大切に守られてきた州内の知られていない場所のいくつかを訪れるツアーがあります。たとえば、アルバ・デ・トルメスとペニャランダの2カ所を結ぶ**ムデハル・ルート**です。このルートでは、キリスト教芸術とイスラム教の美学が融合する代表的な16の寺院を見学できます。ルートでの見どころはほかにもあり、マコテラ、カンタラシージョ、ビジョリアの格天井などもおすすめです。

かつてローマ人がスペインを南北に縦断する際に利用した、サラマンカを通る**「銀の道」**も辿ってみましょう。ギフエロやベハルなど、サラマンカ郊外にある魅力的な街へ足を延ばすにも便利です。

この辺りには、敷石、距離標、排水溝など、昔のローマ街道の興味深い遺物が残されています。ここからとても近いと

ころにベハール＝ラ・コバティージャ山地のスキー場があるので、スキーが好きな方はぜひ訪れてみてください。



ベハール＝ラ・コバティージャ山地。



サラマンカ 周辺のおすすめスポット

時間に余裕があるなら、サラマンカ市周辺地域にも出かけてみてください。

アルバ・デ・トルメス

著名な宗教家・神秘家であったサンタ・テレサ・デ・ヘススが最後に身を寄せた、スペイン貴族の最も古い一族、アルバ家の邸宅を訪れてみましょう。多くの魅力が詰まっています。橋からアルバ家の城まで、教会と修道院を経由する街中のルートが標識で示されているので、これを辿って行くと、新たな発見に出合えるかもしれません。

レデスマ

トルメス川に突き出した丘の上にあるブレティサの古代ローマ建築は、モチヨ橋と並ぶ興味深い遺構です。古くから残る雄牛の石像がレデスマ城の庭園に鎮座し、堂々たるメンヒル（立石）も見どころです。サンタ・マリア・ラ・マヨール教会、サンタ・エレーナ会、旧サン・ホセ病院、公設穀物取引所などを訪れることもできます。

ラ・アルベルカ

広大なオークの森林と果樹が囲むラ・アルベルカは、ペーニャ・デ・フランシア山地の麓に位置します。街の建築には、中世から受け継がれてきた盾や碑文が刻まれています。ポルティージョの

山に登ってみれば、ラス・バトゥエカス渓谷の魔力を目の当たりにすることができます。オークやマドローニョの森、古い礼拝堂、デシエルト・デ・サンホセの修道院などがあり、迷い込んでしまいそうになります。

世界遺産：アビラとセゴビア

サラマンカからわずか数キロのところに、ユネスコの世界遺産登録都市がほかにも2カ所あります。

アビラと言えば、もちろんその**中世の城壁**が思い浮かぶでしょう。世界でも最も保存状態の良い城壁のひとつです。城壁内部へと入ると、まるで時間をさかのぼったような風景が広がります。教会や修道院、ルネサンス様式の宮殿などが集まる美しい歴史地区を歩くことができます。

セゴビアではローマ水道橋が最大の見どころとなっています。ユダヤ人地区の緻密に設計された迷路に迷い込み、その風格のある家々を鑑賞してください。1日の最高の締めくくりとして、**ラ・グランハ・デ・サン・イルデフォンソ宮殿**も訪れましょう。この地域でぜひ押さえておきたい場所です。

サン・セバスティアンへのアクセス

列車

列車を利用すれば、マドリードやアビラ、サン・セバスティアン、ビルバオ、バルセロナなど、さまざまな場所からサラマンカへ快適にアクセスできます。市内の中心部に位置する駅ビルは、独特なデザインで人々の注目を集め、近代的なショッピング・レジャー施設としても人気があります。

① 詳細：www.renfe.com

空港

サラマンカ空港はマタカンの空軍基地の一部で、一般市民にも開放されている空港施設です。サラマンカからわずか15キロに位置し、1年のうちの限られた時期に定期便やチャーター便が運航されています。最も近い国際空港はバリャドリッド空港で、車で1時間半以内の距離です。

他の国際線でのアクセスは、マドリード・バラハス空港経由が最善のオプションです。サラマンカへの移動手段としては、レンタカー、列車、バス（バラハス空港の第1ターミナル発の直行便あり）などがあります。

車

サラマンカは高速道路のA-50で首都マドリードとつながり、高速道路のA-66によりヒホン、サモラ、カセレス、メリダなど他のスペイン国内都市とも結ばれています。ポルトガルからは、高速道路のA-62を経由して数時間で到着します。



写真:サラマンカ観光局

マヨール広場

サラマンカ市内での移動

記念碑や観光スポットの大部分が比較的近距離にあるため、サラマンカの街は気軽に歩いて散策することができます。

街は大きな段差がない設計になっており、自転車は中心街でも、水上公園の自転車専用レーンでも利用できる、おすすめの移動手段です。

サラマンカ市内と近郊での移動には、都市バスネットワークをご利用ください。また、地方や田舎、他州への移動などにタクシーを利用することも可能です。

その他の市内での移動手段としては、夏期にサラマンカを走る観光列車などもあります。アナヤ広場を出発し、大聖堂を始めとする市内の主要観光スポットを巡ることができます。

① 公共交通機関や観光列車についての詳細は、ウェブサイト www.salamanca.es をご覧ください。



詳細

サラマンカ観光案内所

Plaza Mayor 32

37002 Salamanca (Castilla y León)

informacion@turismodesalamanca.com

www.salamanca.es

スペイン政府観光局公式サイト

www.spain.info



	MINISTERIO DE INDUSTRIA, COMERCIO Y TURISMO	TURESPAÑA 
--	---	--

 @spain

 @spain

 Spain.info

 /spain